

『求めない』x『楽しむ』

1. 「楽笑」さんに学ぶ

右の写真は、楽笑さん(右下の写真)が書かれた「書」です。「笑てなはれや〜怒ったら損しまっせ 笑う門には福が来る 楽笑」と書いてあります。何でもない言葉のように思うのですが、見るたびに味わいが深まるのも事実ですね。こういうものを「遊書」と言うそうです。結構、流行っているようで、ネットで「遊書」と入れて検索すると約143,000件もヒットしています。



「絵手紙」というものがありますが、これは、絵を中心にしていますが、「遊書」は、言葉を中心にしており、あしらい的に絵を挿入するケースもあります。こういう意味で「遊書」と「絵手紙」は非常に近い関係にあるものです。楽笑さんの作品にも絵を挿入しているものもあります。



「楽笑」さんは、大阪の BMW ディーラーの会長をされています。BMW 販売の傍ら、この「遊書」を20年近くこだわっておられるのです。最初は、お父さんから教わった言葉(例「花よりも花を咲かせる土となれ」)を中心に書いておられたようですが、その中から「夢、笑、楽」という3文字に収斂されたようです。「笑てなはれや〜」という呼びかけは、多くの作品に書き込まれています。

また、「楽笑」さんは、訪問された方に気安く「書」をプレゼントされています。「額」に入ると結構、高級感が高まるもので、大喜びされているようです。自分の「書」を楽しみながら、対価を求めずにどんどんプレゼントされているのです。その結果、日本一の BMW 販売店になっておられるのです。「積善」という禅語がありますが、まさに、自分の趣味を活かして実践されています。

2. 「求めない」

右は「求めない」(著者:加島祥造)という本です。ネットで紹介文を検索すると【「求めない——すると、本当に必要なものが見えてくる」「求めない——すると自由になる」。詩人、アメリカ文学者であり墨彩画家、そして近年は「老子」を現代語に翻訳して大きな支持を得ている加島祥造氏が日々書きとめてきた、すべてが「求めない」で始まることば。「何かが欲しい、手に入れたい、誰かのようにになりたい、誰かにこうしてもらいたい」——人は誰でも求めます。まったく求めないでいることは難しいけれど、信州・伊那谷の自然になかでくらす83歳の著者は、「ほんの3分でいい、求めないでごらん。不思議なことが起こるから」と語りかけます。「求める」ことに追い立てられ、強いられる時代に生きる私たちが、心平安に、幸せに生きるための知恵が詰まった珠玉の詩集です。】とありました。



実は、私は、この本を読んでいないのです。しかし、「求めない」という言葉で大きな衝撃を受けたのです。紹介文の2つ目に「求めない——すると自由になる」がありますが、正しく、この境地を悟ったのです。これって、私にとって「天動説」だったのです。それまでは、自分中心に考えていたので、「こんな事でどんな結果が生まれる？」と行動の先読みをできてしまっていたのです。しかし、現実には、そんな先読みは殆ど外れていたのです。「求めない」という悟りから、どんどん人に迫って行くようにすると、ありがたい話になって返ってくるのです。「求めない」から「自由」に自分の考えを表現できるようになったのです。これって、当たり前のことですが、58歳になって「悟る」ことが出

来たのです。

3. 「継続は力なり」

右の方は、広島でリフォーム業をされている木原さんです。私は、この方とは平成6年、船井総研でコンサルタントの勉強していた時に知り合いになったのです。木原さんは、一回り上の丑年の方なので、丁度よい「未来像」を示していただいています。木原先生と呼んでいます。社内に発信している「ディリー・メッセージ」というものを毎週、Fax で送ってくださっています。平成20年6月15日で Vol.4186となっています。もう、11年半も毎日かかさず社員宛てに書いておられるのです。



木原さんはイエローハットの鍵山さんを尊敬されていて、「10年偉大なり、20年畏るべし、30年歴史になる。50年神のごとし」という言葉を尺度として、自社の「そうじ、あいさつ、はがき」という基本活動を推進されています。私は、「凡事徹底」という視点で、この状況を書いていますので、右を参照：<http://www.keiei.ne.jp/dir/ami67134161/column/10016573.html> して下さい。

木原さんは、社員さんの「そうじ」の姿を見て、人物判断されているようです。「そうじ」というのは、誰もが好きではないと思うのですが、木原さんの会社では、毎朝、社員全員で公道をお掃除されているのです。出勤のためにバス停に向かう地域の方から「おはようございます」という声がかかるようになっているのです。これが、2つ目の「あいさつ」なのです。社員さんは、自然と「あいさつ」が上手になっておられます。そして、1日5通という「はがき」を全員で実践されているのです。これだけの事を「躡ける」というのは、並大抵ではないのです。これは、20年になろうとしているそうです。

4. 「求めない」x「楽しむ」

「楽笑」さん、「加島祥造」(求めない)さん、そして、「木原」さんを紹介して来ました。それぞれの方に大なる啓発を受けています。木原さんとは、メールでやりとりしていますが、先生から「これからが楽しみだ」という暗示を頂いています。私が「求めない」x「楽しむ」という境地を切り開いて実践するようになったのをそのように表現して頂いたと思っています。

平成20年7月に創業13周年を無事に迎えることが出来ました。経済環境が厳しい中、お客様は立派に経営されています。今までに、倒産された会社がないというのも当社の誇りであります。来年、私は、満60才になって、年金の特別報酬部分を頂けるようになります。これを、社会に還元できるように頑張っていきます。「求めない」を実践しながら「楽しむ」を実践して「気づき」という大きな課題に「自由」をベースにチャレンジして行きたいと思っています。



【まとめ】

1. 積善: どんどんプレゼントすると必ず、何か返ってくる
2. 「求めない」——すると自由になる
3. 「10年偉大なり、20年畏るべし、30年歴史になる。50年神のごとし」
4. 「求めない」x「楽しむ」で自由になる

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryo.html> でご覧になれます！】